

平成30年4月
第381号



春季奉仕作業(農道)3/11

大 報 告

お お く て



おもな内容

- ・小中学校卒業生 … P2～P3
- ・旧小学校の思い出 … P4～P5
- ・大人の社会見学 … P5～P6
- ・30年度行事スタート … P7

「大人の社会見学」 3月17日(土)

大本山方広寺 三重の塔にて



小学校コーナー

小学校を卒業して

W・A

六年間、たくさん友達と遊べたので、中学に行っても友達と一緒に楽しく遊びたいです。

勉強もがんばります!!

ぶかつをがんばる

T・M

今まで、見守りいただきありがとうございました。

私は中学生になったら、小学校よりテストがあるので、いい点がとれるようにがんばりたいです。

もう一つは、ぶかつが増えるので、入ったぶかつを一生けん命やりたいです。

これからも、どうぞよろしくおねがいします。

リーダーとして

K・Y

釜戸小学校に通って六年がたちました。今ふり返ってみると長いように短い六年間でした。最後の六年生になった時、花の木リーダーになって、みんなをまとめてきました。初めは不安だったけど、やっている内に、なっつよかつたなと思えました。

中学生になったら、部活に勉強といろんな面でがんばりたいと思います。

続けてがんばる

I・M

私は、小学校一年生からずっと剣道をやっています。中学生になっても続けようと思うので、剣道と勉強をがんばりたいです。

卒業して

O・S

ぼくは、この六年間、楽しいことがたくさんありました。そして、その六年も終わりました。

中学へいっても、自分を信じて、部活も勉強もなんでも全力で取り組める中学生になりたいです。

仲間を大事に

A・S

六年間は、あつというままでした。私にはたくさんさんの思い出があります。とくに、修学旅行が楽しかったです。大湫の子は少ないけれど、私の同級生は五人もいたのでとても心強かったです。これからも仲間を大事にしたいです。中学でもがんばります。





新たな気持ちで

T・R

幼稚園から中学

三年生までの十二年

中学校コーナー

間を過ごしてきた仲間と離れるのはとても悲しかったですが、でも、悲しんでばかりでなく高校に新たな気持ちで向かっていきたいです。

心機一転

A・R

私は中学校三年間、たくさんの本を読みました。その中で、素敵な作品に出会うことができました。これからも読書が続けていきたいです。

私にとっては考える事の多い中学校生活でしたが、無事に卒業することができました。これも、家族や先生方友達や地域のみなさんのおかげだと

感謝しています。

四月からは高校生、心機一転がんばります。

PTAから

一年を振り返って

小中学校支部長

板橋輝繁・三枝子

この一年間、小中学校の支部長として、子供たちと共に、町の行事など関る機会がたくさん

ありました。小学生は参加を目的とし、中学生はお手伝いをする事で町内と子供たちは繋がりを持つ事ができました。その子供たちの姿を地域の方々にはとても温かく見守っていただきありがとうございます。

これからも子供たちの成長する姿を一緒に見守っていただけたらうれしいです。

どうぞよろしくお願いします。

子ども達とのふれあい会です

リ・アップ“ひよも”だより

4月のお茶のみ会のおさそい

日時：4月4日（水曜日）9：30～11：00頃まで

場所：大湫公民館 講堂

参加費： 無料

場所が違うから間違えないでよ・・・！

お待ちしております

旧大湫小学校

「姿を消した赤い屋根」

昭和 41 年卒 和田千弘

明治 5 年から平成 17 年まで、130 年間の幕を閉じた大湫小学校!!

その後、子供達の声が消え 12 年の間大湫町のシンボルとしてひっそりと見守り続けてくれた校舎もとうとう姿を消してしまった。

そんな校舎への私の思い出とは、

◎新築から 4 年目くらいに、私は 17 人の友と入学。当時は全校 100 人以上いたとうっすら覚えている。先生は 3 人しか覚えていない。三浦校長先生・一年担任の松浦先生・なぜだか本田先生だけを覚えている。あの当時のイケメン? だったからかな (笑)

教室は 1 階が 1 年~3 年、2 階は 4 年~6 年と全教室満員で休み時間ともなると運動場はごった返しだった覚え。

◎3 年生になっても 1 階と思っていたら、なんと 2 階の大教室で 3・4 年の複式になりびっくり。それどころか 3 年生の教室だった所が理科室になった。

記憶では廊下の両サイドにはカエル・ヘビ・魚等のホルマリン漬けがずらり、教室内は古びた書棚に実験道具が並びその脇には「ニョキ」と人体模型が立ち、こちらを見ている! ととも一人では怖くって入れなかったこと。

◎家でこぬか入りぞうきんを作ってもらい一生懸命みがいた廊下。教室の床みがきです。それはそれはピッカピカ!!

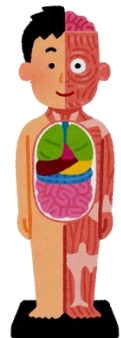
物が鏡のように映っていた。そんな廊下は私達にとってはかっこうの遊び場、滑らないわけがない。教室移動はスルーと滑り込み!

「こらあ~廊下を滑るな!!」の先生の声 (笑)

まあ~よ~くすべりましたよ!

◎校舎への思いはいっぱいあるが、勉強に関してはほとんど覚えなく、校外学習で本陣山・お寺のうら山登り・足又や神田探検に行きました。茸採りにも行った (収穫の茸は? 先生が!?)。そんな学校生活を 6 年間過ごし卒業しました。

私は幸せな事にその 10 年後の 4 月より大湫保育園 (大湫公民館内) 勤務が縁で小学校と共に 24 年間という長きにわたり過ごせた事、本当にうれし



く思っています。

姿は消えれども目を閉じれば赤い屋根の校舎が浮かんでくる！

時の流れと受け止め、思い出を心に秘め、

“ありがとう、さようなら”と言おう。



次回は、グラハム（天野）智子さんです。

公民館主催行事

チョット童心に帰って楽しんだ
「大人の社会見学」

心がけのいい人ばかりで、前日の雨が嘘みたい・・・！



寒い朝でした。前日の雨は止み、雲一つ無い晴天です。この日、3月17日（土）は公民館主催の「大人なの社会見学」でした。参加者は「老々男女」、20名。

農業とは距離のある西尾市の企業さんが取り組まれている農園、施設園芸によるイチゴ栽培を見学。もちろんメインは、食べ放題のイチゴ。「たくさん食べてくださいよ」と、スタッフの若い女性。ハウスの中に入ると、プーンとあのイチゴの香りがします。時折、ハウス内の湿度を上げるためか、ミスト状の水が噴出されます。練乳を付けて食べるイチゴは格別でしたが、「暑い！あつい！」と一。



バスの車窓から見る浜松市の景色は、春模様です。山の斜面に沿ってかなり高いところまであるミカン畑。三ヶ日みかんの産地です。ミカンの花が咲くころは見事では・・・、と思います。

「菜の花が満開だがね」「あの黄色い花は、ギンヨウアカシヤじゃないかね」などなど。バス内は、とても賑やか。参加したある男性は「圧倒されてますわ…」と。

浜松は、昨年度のNHK大河ドラマ「女城主 直虎」の舞台。「井伊谷」は



一躍有名となりましたが、今回私たちが訪れたのは方広寺。禅宗の古刹こさつとしても有名ですが、訪れる人はそれほど多くはありません。ここで、精進料理の昼食をいただきました。

時間の無いなか、ボランティアガイドの方から説明を受けながらの本堂観覧は充実したものとなりました。大湫宿ボランティアガイドにとっては、ガイドという点からも役立ったかも一。

サクラの花も期待されましたが、チョット早かった浜松フラワーパークでした。ルピナス、黒い花のアイリス、温室のベゴニア、などが見頃でした。

予定通り、6時に大湫に戻ってきました。参加された皆さん、大変お疲れ様でした。



*参加の皆さんには、アンケートによりご意見をいただきました。回答からその一部をご紹介します。

① 参加した感想は

1. 大いに満足した 15名 2. まあまあ満足 3名
3. 4. 5. どちらともいえない・やや不満だ・とても不満だ 0人

②印象に残った場所・事柄は何ですか

- 1位 方広寺見学 2位 精進料理 3位 いちご狩り
4位 フラワーパーク

今回の企画には、概ねご満足をいただけたようでした。お土産を買う時間が「少し短い」(7名)、お昼の精進料理には、「おいしく食材にも興味をもった」(15名)、とのご意見・感想をいただきました。

「盛りだくさんの体験をさせていただきました」との言葉に、企画側としては、ホッと一息。

30 年度行事がスタート！

「花の森完成式&花の観察会」

日時：4月14日（土）

9時～

会場：花の森

おしゃべりサロン「こぶし」

「町民パターゴルフ大会」

日時：4月22日（日）

9時スタート

会場：大湫宿パターゴルフ場
（神田）

どちらも詳しくは配布

したチラシを見てください。

大湫町コミュニティ推進協議会総会

日時：4月25日（水）

19:00～

会場：大湫公民館 講堂

関係者の皆様、
よろしくお願
い
します

平成29年度瑞浪市消防団活動フォトコンテスト作品展

期間：4月17日（火）～4月23日（月）

会場：大湫公民館 ロビー

市民の目線で捉
えた素晴らしい
作品です。
見に来てね…

“消防団を身近に感じ、防火や防災に
対する意識を高めてください”



小栗和茂写真展

期間：4月24日（火）

～5月23日（月）

会場：大湫公民館 ロビー

素晴らしい作品
が沢山！
是非、見に来てく
ださいね





ようやく春らしくなります。
大湫宿の散策に出かけてはいかがですか。

4月～5月の丸森事業 は、

① 竹細工の家並み模型(三戸憲和さん制作)を展示公開

*江戸末期から明治にかけての大湫宿を もう一度たくさんの人々に
見ていただこうと和室に展示します。是非ご覧ください。



② 大型テレビで大湫宿を紹介

*50型の大型テレビを設置しましたので、
大湫宿の自然や歴史・行事などを
随時紹介していきたいと考えています。



③ 大型連休中に2つの事業を計画

4/29(日)	30(月)	5/1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)
クラフト かご作り	×	×	×	宿案内	宿案内	宿案内	×

クラフトかご作り	事業名	大湫宿案内
13:00～15:00	時間	10:00～13:30
1名～10名ほど	募集人数	1名～10名ほど
500円 (材料費・記念品など)	協力金	500円 (お昼の五平・記念品など)
三浦順三 さん	協力者	丸森職員・ボランティアガイド
4月24日(火)	締切	4月24日(火)
大湫町丸森 0572(63)2455	予約問合せ	大湫町丸森 0572(63)2455

三月の句

尊徳像を残して更地春の風

山口雪子

風光る古刹にあまたの羅漢かな

天野辰代

涅槃図に詠歌唱へる老女かな

過疎の家紅の雛段賑賑し



※—の言葉が季語です。季語は一つが基本です。

モニタリングサイト 1000 (里地調査) 始まる！

これは環境省が日本全国 1000 か所程度のモニタリングサイトを設置し、長期にわたって観察することで自然の変化を把握しようとする企画です。この調査に「大湫町自然保全委員会」が加わることを決め応募しました。昨年末、事務局の「日本自然保全協会」から調査サイト内定通知が届き、今年度から開始となります。

環境の変化は、すぐに気づくことができるものばかりではなく、長期にわたる調査、観測によってはじめてわかることも多いのです。大湫宿の植物や昆虫（蝶）を定期的に調査し、環境省に報告するとともに、私たちの住む大湫宿の環境を町内外の皆さまにもお伝えし、大湫の自然保全の一助となるよう、今後 5 年間にわたって調査を継続していく企画です。息長く続けるには、楽しんでおこなえる調査とすることが大切です。

3月24日（日）、自然保全委員を中心に観察ルートを確定するための調査を行いました。

多くの皆様にご参加いただけるよう、今後ご案内をいたします。多くの方の参加をお願いしたいと思います。



県指定天然記念物のヒトツバタコ自生地にて

生きもの語り (10)

散り際が肝心？

まもなく桜の季節。万葉時代は、花といえば「梅」。時が移り、武士の時代になると、サクラ。ヤマザクラだったようです。江戸時代後半にソメイヨシノが創り出され、一斉に咲くこと、葉が出るより先に花が咲くことで人気となると、種類の多いサクラの中でも、サクラすなわちソメイヨシノとなりました。

このソメイヨシノは、すべてクローン。同一個体です。よく知られているように、オオシマザクラ（大島桜）とエドヒガン（江戸彼岸）の交配によって作り出された品種です。染井村（現在の豊島区駒込）の植木職人たちによって育成された創作品で、良いものを一本を選び、接ぎ木によって増やしたものです。その後、サクラの名所「吉野」にあやかって「吉野桜」として売り出されていきました。ソメイヨシノがヤマザクラとは違う品種であることから、植物学者により「染井吉野（ソメイヨシノ）」と名付けられました。

クローンは、どれも同じ遺伝子をもつ個体です。そのため、弱点も同じです。ある病気にかかりやすければ、どの個体もその病気になりやすいのです。ソメイヨシノでは、テングス病にかかりやすいという弱さがあります。



日本全国にソメイヨシノが植えられ、広がっていったのは、ここ 100 年ほどの間です。わかっているもっとも古いソメイヨシノの樹齢は 130 年。青森の弘前公園にあるものです。

軍歌「同期の桜」は、パッと咲きパッと散るソメイヨシノの美しさから、「命を失う」ことを「美しさ」に導く役割を担ったのです。「咲いた花なら散るのは覚悟 みごと散りましょ 国のため」と。

東京都の開花を決める標本木は、あの「靖国神社」のソメイヨシノです。

淡墨桜（本巢市）は、樹齢が 1,500 年、臥龍桜（高山市）が樹齢 1,300 年。いずれも樹種はエドヒガン。ところがソメイヨシノの寿命はおおよそ 60 年。この 60 年説について、「管理の問題」だと、異を唱える学者もいますが…。いずれにしても、ソメイヨシノの寿命説は、もう少し時間を経れば決着がつくでしょう。

クローンと聞いて、羊の「ドリー」（哺乳動物の体細胞から初めて生まれたクローン）を想起された方もあるでしょう。この羊は、体細胞から作り出され、動物のクローンが世の中で知られるようになったきっかけを作りました（1996年）。霊長類のクローンの誕生が、今年（2018）1月に報道されると、各方面にセンセーションを巻き起こしました。

霊長類のクローンは、倫理上の問題も提起します。霊長類のクローンの成功は、ヒトのクローンができることでもあるからです。それはクローン技術でヒトを造って、臓器移植に備えることの可能性も示唆します。「クローン人間」を造り出すことは、神を冒瀆ぼうとくすることにならないか、倫理上許されるのか…。

ところが、植物ではクローンは珍しくありません。挿し木・挿し芽などによって同じものをたくさん創り出すことは、園芸の世界ではごく当たり前。自然界でもクローンによって同じ個体が増えていきます。イチゴが親株からランナーを出し、子株、孫株を増やし、ヤマイモやユリがムカゴを作りその一つ一つから新しい個体となります。ちょうど、そんごくう孫悟空が自らの毛を抜いてプーと一吹き、息をかけると毛の数だけ孫悟空が誕生するようなものです。



タラの卵からできたタラコ。おびただしい卵です。これがすべてタラになったら、海はタラだらけ。ところがそうはなりません。大人のタラになるのは、わずか。他の魚に食べられたり、病気にかかり死んだりします。餌や光の量、生きる場所や空間などの取り合い、分かち合いによって、生きもの数も自ずと決まっています。

ところが、地球上で急激に増え続けてきた特異な生きものがあります。それがヒト。だが今後もヒトだけが増え続けることが可能か、安定した数になるまでの途上か、議論が分かれるところです。人が誕生し、たかだか数百万年ですから。すでにヒトは自ら増え続けることを抑制しているのかもしれない。先進国の少子化は、それを示唆しているようにも思えます。人はどう努力しても、（生物としての）ヒトの域を超えられないのですから。はて、さて、今後どうなるのでしょうか。

今回で「完」とさせていただきます。長い間、駄文「生きもの語り」をお読みいただきありがとうございました。紙面をお借りして、お礼申し上げます。

長谷川 明

四国八十八ヶ所

土佐（高知県）の旅

昨年が続いて、空海の修行の場だった土佐一国を目指して出発した。体調が優れず、直前まで迷ったが同行を楽しみにしていたアメリカ在住の娘に尻をたたかれ決断した格好となった。

香川県の善通寺で生まれ、室戸岬の空と海しか見られない洞窟に籠もって修行した処から「空海」と称された。

十八歳の時、今の東京大学に比肩する官吏養成学問所に入學するも、出世競争に明け暮れる同輩達を見て、才能を惜しまれながら退學して仏門に入られた。土佐の地で、難行苦行をして四国を始め各地を訪れて、住民のために精力的に働かれた。今の国会議員には、空海の爪の垢でも飲んで、国のた

めに働いてほしいものだ。

二日目、高知市内のホテルを出て、室戸岬に向かう。車窓より太平洋の波打ち際を歩く遍路を見てうらやましく思った。雄大な太平洋、雲が広がる室戸岬だったが、灯台にふれ、若き空海の石像を仰ぎ見て、金剛頂寺の宿坊に入った。宿泊客は少なく、私共三人を入れて七名だったが、共通の思いを持つ者同士、すぐうちとけて話せた。

歩き遍路をしている女子大生がいて、想像以上に厳しいと洩らしていた。気の合う友達と歩いたら楽しいのと尋ねたら、「一人旅がいい」と言われた。「所詮人生一人旅」、悲しいことも辛いことも自分で解決して行かなくてはならないとしたら、歩き遍路は貴重な財産になる事と、自分のなし得

なかつたのを棚に上げて話した。

翌三日目は、観光バスで高知市内が一望出来る五代山に登り、念願の牧野植物園を見学した。残念ながら「百合」は見られず、先生がお元気だったら「博多百合」について所見を伺うのに夢に終わった。その代わり竹林寺の売店に竹羊羹があつた。大湫宿の土産物になればと買い求めた。「老いてまだ何かやろう」とする意欲に弘法大師もあきれおられるだろうと苦笑した。忘れて帰る訳にはいかないのが桂浜にある坂本龍馬の像、最も尊敬する人物であり、死に土産になった。

四日目は、最終の予定地、足摺岬よりアメリカを眺めて、金剛福寺に宿泊、二回目の「乗り物遍路」は終わった。

お
し
ら
せ
さ
し
お

H30

4月の集まるう会

大塚町
コミュニティ
推進協議会
集まるう会

集まるう会は、毎月第四土曜日
9時30分～12時まで
老人作業所です。

4/28(土)・・・物づくりと、春みつけをしましょう。

4月からは、太鼓の練習が始まりますよ。
毎月第一土曜日 9時30分～12時。と。
毎月第三土曜日 午後1時～4時です。
4月は、4/7(土)と、4/21(土)ですよ。

太鼓の後は
春みつけに
行きたいね。
畑の手入れ
もおわすれ
なく！

ほっかの店、からののお知らせです。
冬物お値打ち販売します。

4月21日(土)午前中と、4月22日10時～14時
場所・・・棚橋和代宅です。

※竹ぼうきも販売しますよ。



★ 志多ら太鼓のワークショップと、ミニコンサートは、
7月16日(祝)です。みはさま、どうぞ、お楽しみに…………。

大湫公民館・大湫コミからのお知らせ

オススメ！大湫分室の本
「すごいストレッチ」

崎田ミナ：著

職場や学校で疲れていませんか。
そんな、あなたに、ねじってストレッチ。
イチロー式ストレッチで疲労からの再起動。
股関節をほぐしてみてください。体も軽くなります。

狂犬病の予防注射

日時：4月11日（水）

11時25分～11時45分

場所：大湫公民館 駐車場

痛いけど我慢する
からよろしくね



ご招待券あります（各2名様）

○新発見！みずなみの化石

特別展

ニュースになった
化石がたくさん

あるよ…！

期間：5月13日まで

会場：市化石博物館

レクチャールーム

○「浮世絵諸国探訪

- 六十余州名所図会を中心に -

期間：4月5日～6月10日

会場：中山道広重美術館

○デンマーク・デザイン

期間：4月21日～6月17日

会場：岐阜県現代陶芸美術展

ギャラリーI

* 大湫宿お休み処

4月の営業は8日(日)・15日(日)・22日(日)・29日(日)・30日(月)です。

☆当日(急ぎ)の予約は丸森へお願いします。TEL：0572-63-2455

* おしゃべりサロン「こぶし」(100円コーヒー)

4月の営業は14日(土)・21日(土) 9:00～11:00

場所：ふれあいセンターです。



デマンド交通

利用者(大湫～日吉東部)

2月：40便 延べ80名

皆さん、もっと々利用してくださいね。
利用者が少ないと、運行本数が減ってしまうかも・・・！

青色回転灯防犯パトロール

4月のパトロール予定者

(4/月上旬)

桐井賢次、柘植 巧

(4/下旬)

奥村準蔵、三浦信之



区長日記

三月は年度の総決算、別れの季節でもあります。中学校・小学校・幼稚園と、それぞれ子供達も巣立ちの節目を迎え、成長したこどもの姿に涙する親御さんを見ると、感慨深いものがあります。

先般岐阜高専の学生さんが研究発表してくれた大湫宿の姿には、魅力あふれる歴史と自然に対する評価とともに、シヨッキングな逆ピラミッドになった年代別人口構成が表記されていました。

大湫町が将来にわたって人々の集う場所であり続けるためには、若い世代、特に子供の存在が不可欠です。色々な形で子育て世代に魅力を持ってもらえるようなまちづくりを進めていく必要があります。しかし都会にある利便性を追求してもおのずと限界があります。豊かな自然に包まれて、のびのびと子育てがしたいという若者に受け入れられる環境づくりなら、多くの可能性がありますから、そうした理念のもとに町として何ができるか追及して参りたいと思います。

区長会長 足立

3月1日 中学校統合準備委員会

2日 定例区長会・幹事会

3日 大湫町景観協議会調査報告会

6日 中学校卒業式・資源保全組合役員会

10日 男女共同参画社会講演会

11日 春の奉仕作業・資源保全組合通常総会

15日 中学校閉校事業実行委員会・統合準備委員会

16日 「みんなの農園」総会

17日 公民館「大人の社会見学」

18日 神明神社祈年祭・雄伯稻荷初午祭

23日 釜戸小学校卒業式

24日 「米屋」清掃活動・自然観察ルート点検

25日 「山びこどん」竹箒づくり

26日 竜吟幼稚園卒園式・連合自治会

28日 長寿会総会

30日 古民家再生モデル事業プロポーザル



平成三十年四月行事予定

予定

日	曜	予	定
日	曜		
四	水	リ・アップ「ひよも」：高齢者と子ども のふれあい（公民館にて）	
六	金	定例区長・幹事会（市長来訪）	
七	土	草刈りボランティア隊作業 集まろう会太鼓練習	
九	月	財産区全員会議 小中学校入学式・始業式	
一	水	新旧区長・組長会議 狂犬病予防注射（大湫公民館にて）	
一	金	①脳とからだのリフレッシュ教室	
一	土	おしゃべりサロン 花の森完成式&花の観察会	
一	火	女性代表と語る会	
二	金	②脳とからだのリフレッシュ教室	
二	土	小中学校授業参観・PTA総会 集まろう会太鼓練習	
二	日	町民パターゴルフ大会	
二	水	大湫町コミュニティ推進協議会総会	
二	金	③脳とからだのリフレッシュ教室	
二	土	おしゃべりサロン／広報委員会 集まろう会物作り	
二	日	*昭和の日	
三	月	*振替休日	

今月の資源ごみ:4/19(木)不燃ごみ:4/6(金)

編集後記

四月といえば桜の季節。桜の

季節といえば新たな生活のスター

トの時期でもあります。特に小さな子どもには不安がいっぱい。

子育ての最終目標は、子どもを社会の中で人とのコミュニケーションが築ける「自立した大人」に育てることだそうです。そのためには、幼少の頃から子どもの話を先取りせず、子どもの言葉を待って、子どもの考える力を養い、子どもの話を頭から否定せず聞くことが大切だとか。家族、特に親との信頼関係ができていれば、外の社会に安心して出られ、人との関係を築くことが出来るようになりますよ。言葉に笑顔をそえると、なおいいですね。小さな子どもは、ギュッと抱きしめてあげてください・・・y



編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
平成30年4月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>